

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）ドッキョウ	フリガナ）ケイザイ	フリガナ）オカベ
獨協大学	経済学部	岡部 ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）サシスセソ。	フリガナ）コヤナギ ユウジロウ	4	無
さしすせそ。	小柳 雄二郎		

研究テーマ（発表タイトル）
学生生活有効活用化 プロジェクト ～すべての学生が望む人生に～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちは、「就活＝大学 3,4 年生」という風潮に疑問を持ちました。大学 1 年生から自己分析や企業研究、自分のやりたいこと、将来像などについて考えてもいいはずですが、しかし、現在多くの学生が大学 3 年生から将来や就職について考え始め、1 年間という短い期間でその後の人生の在り方を決めてしまいます。その結果、企業名や年収で就職先を決めてしまい、企業とのミスマッチを感じてしまいます。そのような学生には明確な夢がないため、企業の倒産やリストラなどで職を失った際に路頭に迷ってしまいます。

大学 1 年生から、徐々に自分を知り、やりたいことを探し、将来を考えることで、充実した 4 年間で社会に飛び立つことができるはずですが、しかし、現在そのようなことを考える機会や場所がありません。私たちは、その機会を作るために研究を始めました。目標は、大学 1 年生から将来を見据えて勉強、遊び、様々な経験を通じて充実した 4 年間で過ごせる学生を増やしていくことです。そのために私たちはライフパートナーアプリを開発します。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、多くの学生が大学 3 年生から自分の将来を考え始めます。就活というものが目前になり、そこで初めて自分の将来を考える学生がほとんどです。しかし、大学 3 年生から将来を考えるということは、1 年で自分の残りの人生を決めてしまうこととなります。しかし、1 年で「自分のやりたいこと」、「将来の夢」、「人生設計」を考えることは難しく、結果的に興味関心がないまま企業に就職し、今まで自由だった環境から規律や制限のある組織に所属することとなり、思い描いた人生とのギャップを感じてしまいます。また、現在就活サイトやインターンを支援するサイトは大学 3 年生をターゲットとしているものが多く、大学 1 年生などでは使いにくいのが現状です。さらに、現在の企業の倒産件数推移は 30%を超え、平均企業寿命推移も 24 年となり、大手や老舗企業でさえ倒産しています。その際、倒産やリストラの対象になってしまったとき路頭に迷う可能性があるため、入りたい企業を企業名や年収で決めるのではなく、自分のやりたい仕事や将来像を長期的に考えることが、学生にとって必要不可欠な時代になりつつあります。

3. 研究テーマの課題

現在、大学3年生になって初めて自分の人生を考える人が多く、企業とのミスマッチやイメージとのギャップを感じてしまう学生が多数います。この課題の解決策は、人生において最も自由な期間である、大学生時に部活、勉強、イベントなど様々な経験を通して自分を見つめなおし、また社会について学び、自分の将来を大学1年生から長期に渡って考えることです。しかし、大学1年生に対し、人生相談や企業選び、大学生生活を充実させる方法などを教えてくれる機関がほとんどありません。高校生までは、担任の先生や親などがアドバイスや機会を与えてくれましたが、大学では大学3年生にならないと就活支援センターや就活サイトなどはあまり効果を発揮しないため、学生も大学1年生から動いたほうがよいと気づく機会が現状ありません。

そのため、この「気づく機会」「自分を知る機会」「動き出す機会」の3つを提供してくれる場が必要だと考えます。さらに、将来への道筋をイメージできる環境を作ることで、「何をやればいいのかわからない」学生たちに将来について考えるきっかけを与えます。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは上記の課題を解決することともに、大学1年生から将来を考え、充実した大学生生活を送れるようにサポートをするライフパートナーアプリ「BranchPoint」を開発します。具体的な案としては、まずアプリ内で自分を知るために「自己分析」をアンケート形式で行い、自分の趣味や性格、興味のある仕事、相性の合う業種などを認識します。その後、BranchPointが社会人データに基づき、自分に合った職業などから理想の大学生生活を提案します。例えば、将来海外で働きたい人には、CAやパイヤー、ディベロッパーなどの仕事情報や先輩の声、海外で働くために必要なスキルなどが表示され、職業について知ることができます。夢ややりたいことがまだ見つからない学生は、イベントや気軽なインターンシップ情報などが表示され、やりたいことを探す手助けを行います。さらに、着実に成長していくために「PDCAサイクル」を活用し、振り返りなども徹底していきます。このようにして、大学1年生のうちから少しずつ将来について考え、いろいろな業界や職種を知り、PDCAサイクルを利用することで着実に成長でき、充実した4年間を過ごして今後の人生を充実させることがこのアプリの目標であり、ミッションです。

ビジネスモデルは、バナー広告等の「広告収入」、企業会員費の「フリーミアム収入」、BranchPoint主催のイベント企画による「イベント収入」の3本柱でアプリを支えています。安定収入として「広告収入」、「フリーミアム収入」を活用し、単発収入として「イベント収入」を活用したいと考えております。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

獨協大学を皮切りに、関東にある大学の中から32校232名の学生に行った調査に加え、関東の大学のオープンキャンパスに参加していた高校生256名（新大学1年生）を対象にアンケートを行いました。

また、社会人を対象に街頭アンケートやOBOG訪問で、125名の方からご意見を頂くことができました。

実現可能性を高めるために、アプリ制作会社の方にプレゼンテーションを行ったところ、好意的な感想と開発可能なアプリであるとのご回答もいただきました。

6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通じて、改めて私たち自身も大学4年間をどう過ごすかについて考えさせられました。また、時間の使い方の重要性を再確認することができました。私たちが1年生の時点で、既にこのアプリがあれば、もう少し充実した大学生生活を送れたのではないかと強く思い、これから入学してくる後輩たちのためにも、実際に開発したいと考えております。

今後の取り組みとしては、アプリを実際にリリースできるようさらにブラッシュアップを続け、実現したいと思っております。

最後に、このアプリによって今の「将来設計は大学3年で焦ってするもの」という風潮を覆し、大学1年生から将来を見据えて勉強、遊び、様々な経験を通じて、充実した4年間を過ごす学生を増やしていきたいです。

7. 参考文献

「就活は3年生からでは遅すぎる」田宮寛之著 東洋経済新報社 2011年出版（参照 2016.7.20）

東洋経済「就活は3年生からでは遅すぎる！ 内定を勝ち取るための、大学1～2年生の過ごし方 田宮寛之著

（参照 2016.7.20） <http://toyokeizai.net/articles/-/8181>

i-plug「2017年卒学生 就活意識調査レポート」（参照 2016.8.1）

<http://i-plug.co.jp/news/student-survey-2017/>

就職ジャーナル「先輩たちに聞きました。就活準備、十分にできた？」（参照 2016.8.1）

<http://journal.rikunabi.com/p/student/souken/17085.html>

就職ジャーナル「大学 1 年生に聞きました。就職や就活のこって気になっている？」（参照 2016.8.8）

<http://journal.rikunabi.com/p/student/souken/17349.html>

NEWS ポストセブン「人生の大失敗 1 位は「就職先選び」（参照 2016.8.8）

http://www.news-postseven.com/archives/20150906_348927.html

Innova, Inc「フリーミアムモデルの 4 つのフレームワーク」（参照 2016.8.20）

<https://innova-jp.com/freemium/>

大学生の「就職活動」に対する意識調査結果報告（参照 2016.8.20）

<http://www.hometatsu.jp/event/syukatsu/pdf2.pdf>

R2 5「就活スタート時期は 1 年生から？」（参照 2016.8.20）

<http://r25.jp/business/00027781/>

TRI 教育事業「図 2：就職活動を振り返った感想・意見」（参照 2016.8.20）

http://kyoiku.yano.co.jp/opendata/080827/research_result01.html

TRI 教育事業「就職活動に関する学生アンケート調査」（参照 2016.8.22）

<http://kyoiku.yano.co.jp/opendata/090715/090715.pdf>

株式会社ディスコ「2015 年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（参照 2016.8.24）

<http://www.disc.co.jp/uploads/2014/04/15monitor201404.pdf>

調査のチカラ「就職活動特集」（参照 2016.8.24）

<http://chosa.itmedia.co.jp/specials/1205jobhunting>

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。